

もめごとほこやし！メシが食える大人に！

花まるグループの野外体験はバカンスやツアーではなく、「生きる力」を育むスクールです！



花まる学習会 公式PV
「キミに花まる！」



とりくみポイント

01 ミニ社会の経験

【自分たちで友だち、居場所を作る経験を積む】

社会に出れば、就職した先に知り合い・助けてくれる人がいることは、まずないでしょう。

自分からコミュニケーションを図り、仲間を作り、自分を知ってもらいながら居場所を作り、生きていかななくてはなりません。

花まるグループの野外体験では、年齢や性別、育った環境、考え方が異なる人たちのなかで、**きょうだいや友人がいない＝自分で頑張るしかない＝ミニ社会を経験**します。この経験を幼い頃にたくさん積むことによって、はじめての体験や出会いを恐れるのではなく、喜び、楽しめるようになるでしょう。

【異学年の縦割り班を編成】

参加決定後、出発地ごとに班を編成します。**きょうだい・花まるの同じ教室(曜日)で同じ学年の子どもは同じ班にならないように組みます。**

ミニ社会の経験ということで、できるだけ**異学年の縦割り**で班を編成しますが、参加する子どもの学年比は毎回異なるため、必ずしも1～6年生が1人ずつ班のなかにいるといった編成にはならないことをご了承ください。

班が2つで、花まるの同じ教室(曜日)で同じ学年の子が3名いた場合は、やむを得ず同じ班になる子ができます。ごきょうだいも同様です。きょうだいや友だちと絶対に同じ班にしたいという方は、別のコース・日程を選択してください。

とりくみポイント

02 部屋の片づけ競争

【来たときよりも美しく】

他者に感謝する心、仲間と協力する心、考える力、工夫する力、どんなことも楽しむ心を育みます。他者に感謝する心とは、まずは宿の方への感謝です。お金を払っているからといって、宿を乱雑に使っていいわけではありません。気持ちよく、安心して生活できるようにと準備をしてくださった宿の方に感謝し、**来たときよりも美しく**を目指します。

【工夫し、仲間と協力した先に】

部屋の片づけ競争を行います。競争なので、子どもたちは優勝を目指して頑張ります。これは、**片づけをやる**という事実は変わりませんが、**面倒くさいと思ってやるよりも、楽しみながらやろうと前向きに取り組むための仕掛け**です。

面倒くさいと思ってやっていると、頭は動きませんし、そこから得られるものはありません。「優勝を目指すぞ！」と目的を持って取り組むことで、心も頭も躍動し、優勝するために考え、工夫し、仲間と協力するようになります。

懸命に頑張ったからこそ、優勝したときの喜びはひとしおです。

とりくみポイント

03 おめでとうコール

【やる気を育むために】

頑張ったこと、頑張ろうと思っている気持ちを認めてあげること。そうすることで、子どもたちが自信を持ち、「自分是可以する」と自己肯定感を高めることができます。それが挑戦につながり、やる気(意欲)を育みます。



【頑張りを称え合う】

たとえば、苦手な食べ物に「ひと口でいいから挑戦してみよう！」と毎食時、伝えます。食べたとまではいかないかじる程度の子に対しても、その頑張ろうと思った気持ちを称え、食後に「おめでとうコール」をします。

♪お～、お・め・で・と・チャッチャチャチャチャ・チャチャチャチャ(拍手)オレ!!♪

こうして認めることで、「いつか全部食べられるようになることが目標だよ」と伝えます。**出された食べ物を残さない**など食べ物に対する考え方はご家庭によりさまざまと思いますが、花まるグループでは、**いつか全部食べられるようになることを目標**にし、まずはひと口挑戦するという考え方をとっています(無理やり食べさせることはありません)。好き嫌いのない子、全部残さず食べられた子には、「スペシャルおめでとうコール」が待っています。

その他、親元を離れ、初めて会う仲間と頑張りぬいた最終日の表彰式でも、「おめでとうコール」が行われ、宿の仲間全員で頑張り方を称え合います。

